

平成27年度(後学期)

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ

受講生募集要項

一般・社会人の皆さま

平成 27 年 10 月より琉球大学の後学期が始まります。
観光産業科学部の授業科目が沖縄産業支援センターで受講できます。
大学生と一緒に生きた学問を楽しみましょう。
併せて履修証明プログラムも始まります！



国立大学法人 琉球大学

観光産業科学部

琉大コミュニティキャンパス事業本部



平成27年度（後学期）

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ

後学期日程（10月～2月）スケジュール

申込期間	平成27年 9月 1日（火）～ 9月30日（水）
受講決定通知	平成27年10月 1日（木）
受講料入金期間	初回授業より1週間以内

問い合わせ先一覧

○授業科目に関すること	観光産業科学部事務部管理係 098-895-8980
○申し込み・履修証明書プログラムに関すること	琉大コミュニティキャンパス事業本部 （総合企画戦略部地域連携推進課内） 098-895-8085
○申込様式はこちら	サテライト・イブニング・カレッジ （RSEC）関連サイト http://ryudai.coc.jim.u-ryukyu.ac.jp/rsec/

平成27年度（後学期）より履修証明プログラムが始まります。

履修証明プログラムとは、琉球大学サテライト・イブニング・カレッジで提供する科目で構成された体系的な知識・技術等の修得を目指したプログラムであり、修得したプログラムについては、公的に証明し、職業キャリア等に活かすことが可能です！！

詳しくは、6ページをご覧ください。

1. RSEC とは

琉球大学観光産業科学部及び琉大コミュニティキャンパス事業本部では、平成 25 年度に採択された「地(知)の拠点整備事業」の一環として、県内の産業界や各企業及び各種経済団体との固い結びつきの利点を活かしながら、那覇市に琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ(以下 RSEC と記す)を設置し、本学と社会のニーズに適う教育サービスを提供することとなりました。

RSEC で提供する科目は、産業界のニーズを十分に把握し、それに適う実践的・応用的なカリキュラムを用意しており、各企業及び機関から社員や職員を受講生として受け入れることが可能です。また、授業スタイルは、原則的に PBL(Project/Problem Based Learning)と呼ばれる課題解決型学習法を採用しています。具体的には、グループワーク、ロールプレイング、ケース・スタディ、ディスカッション、プレゼンテーション等の学習方法を用いることにより、教えられる受動的な学修だけではなく、自ら考え行動し成果をあげる人材に成長させることを主たる目的としています。

今後、産業界のみならず、経済界や地方公共団体の政策立案能力等の向上を目的としたカリキュラムの導入と充実を図り、地方公共団体の職員の能力開発も視野に入れていく予定です。

また、平成 27 年度後学期から履修証明プログラムを導入し、プログラム毎に養成する人材をより明確化することとし、修了要件を満たした社会人履修者には学校教育法第 105 条に基づく「履修証明プログラム」の修了認定を受ける事ができます。

このような趣旨で RSEC を開講しますので、一人でも多くの方々にご参加いただき、大いに学問を楽しんでいただきたいと願っています。

2. RSEC の基本理念と今後のテーマ

観光産業科学部の教育研究の目的は、本学が目指す「地域特性と国際性を併せ持つ大学」の一機関として、沖縄及びアジア太平洋地域の観光に焦点をあて、観光学と経営学の両輪から、理論と実践の融合を目指し、国際的に通用する実践型人材の育成を目指すことにあります。また、本学部は持続可能な観光と地域振興を基本方針に据えながら、地域に根ざし地域とともに発展する学部として、あらゆる産業に対してその学術的成果を還元し沖縄経済社会の健全なる発展に寄与することを目指しています。

今後のテーマとして、産学官の共同体系をさらに強化し、高度職業人の養成及び社会人のリカレント教育の場として、その機能を十分に発揮し、本学部の研究と教育の成果を地域社会に還元する(COC=Center of Community：知(地)の拠点)を確立することを目指しています。

3. RSEC の教育目的

本構想(琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの新設)は、産業界のニーズに対応する教育内容と教育方法の改善と授業提供及び本学部のニーズに適う実践的・学際的教育システムの強化に焦点を当てています。具体的には、観光経営・観光産業の振興を中軸としつつも、沖縄経済社会全体のニーズを尊重し、あらゆる産業に対して、「地域再生」「地域活性化」「地域興し」につながる実践的かつ応用的な学問的成果を社会に還元することこそが本構想の究極的な目的です。

前述した基本理念と教育目的に基づき、RSEC では、以下のような特性を有する人材を育成することを目指しています。

- ① 高い倫理観を有し持続可能な社会の実現に貢献できる人材。
- ② 高度な専門性と幅広い教養を併せ持ち、総合的な判断を下すことができる人材。
- ③ 地域社会の発展に貢献しうる実践的マネジメント力を行使できる人材。
- ④ 国際感覚と外国語運用能力を身につけ、国際社会で活躍できる人材。
- ⑤ 理論と実践の融合を目指し真実を追究できる人材。

4. 授業科目及び担当教員

授業名 授業内容	担当教員	備考	履修証明プログラム 対象科目*
経営管理特殊講義Ⅰ（ライフプラン概論・基礎） 中長期的な人生設計を基盤に、自身が学ぶべき知識、情報、経験、技能等やワークライフバランスの充実に向けた知恵について学ぶ。	官家 吉弘 10月8日(木)		③
経営管理特殊講義Ⅱ（ライフプラン概論・応用） ライフプラン概論基礎で学んだことをベースに、「如何により良い人生設計を構築すべきか」をテーマにアクティブ・ラーニングによる課題達成型の学びの機会を提供する。	官家 吉弘 10月8日(木)		③
財務管理論応用 前学期の財務管理論基礎で学習した論点を活用して、主に事業計画の策定および観光業界を中心とした業界分析を行う。	桑原 和典 10月8日(木)		①
経営管理特殊講義Ⅲ（ビジネスアカウンティング応用） 企業の成績表である財務諸表（損益計算書、貸借対照表など）の基本構造を理解し分析を行うことで会計情報から何が読み取れるかを学ぶ。	多賀 寿史 10月8日(木)		①
経営管理特殊講義Ⅵ（起業家行動論） 起業家の立場から、起業家のマインド・行動原理・環境適応能力等に焦点をあて、グループワークを加えながら、アントレプレナーシップの実践的本質について学ぶ。	饒平名 知也 10月9日(金)		②
マネジメント応用論 「コーチング・マネジメント」と「人事考課のシミュレーション」と「企業の問題解決に向けたケーススタディ」に焦点を絞り、ES（従業員満足）の実現に向けたマネジメントのあり方を学ぶ。	牛窪 潔 10月9日(金)		③
経営管理特殊講義Ⅹ（PBLによる戦略策定実践講座応用編） 前学期で習得した考え方やノウハウを基盤に、企業や自治体が現実直面に直面している課題をテーマに掲げ、情報収集・研究・立案を繰り返し、最終的には解決策を完成させ、新聞形式の提案書としてまとめる。	酒元 謙二 10月10日(土)	隔週・連続講義 (5・6時限目)	②
中小企業発展特論 ピーター・ドラッカーの名著である『現代の経営・下巻』及びドラッカー理論に関する参考文献の輪読を行い、ドラッカー経営学の本質を学ぶ。	牛窪 潔 10月17日(土)		③
経営管理特殊講義Ⅶ （マーケティングの要諦と実践ビジネス・プランニング） 前学期で体得したビジネス思考やツール等を駆使し、マーケティングの知識も加え、実動可能レベルのビジネス・プランニング立案能力の育成を目指す。	仲谷 康 10月24日(土)	隔週・連続講義 (3・4時限目)	②
経営管理特殊講義Ⅳ（日経新聞活用法応用） いま注目を浴びている業界・企業を取り上げ、その本質（強み・魅力・課題・将来的可能性）について学ぶ。さらに、日経電子版や他の新聞などから得られた情報をベースに、優れた経営・企業とは何か、実効ある沖縄振興策とは何かについて学ぶ。	小嶋 健史 10月31日(土)	隔週・連続講義 (4・5時限目)	①

詳しくは、琉大コミュニティキャンパス事業のRSECホームページにシラバスを掲載しています。

*履修証明プログラム対象科目については、6,7ページの構成科目をご覧ください。

5. 時間割（後学期）

	木 曜		金 曜		土 曜	
	(306)	(307)	(306)	(307)	(306)	(307) (隔週) (307)
3 限目 13:00～14:30	—	—	—	—	中小企業発展特論 【牛窪】	経営管理特殊講義Ⅷ (マクガイン)の要諦と実践 ビジネス・プランニング) 【仲谷】
4 限目 14:40～16:10	—	—	—	—	—	経営管理特殊講義Ⅷ (マクガイン)の要諦と実践 ビジネス・プランニング) 【仲谷】
5 限目 16:20～17:50	—	—	—	—	—	経営管理特殊講義Ⅳ (日経新聞活用応用) 【小嶋】
6 限目 18:00～19:30	経営管理特殊講義Ⅱ (ライブ) 応用・応用) 【宮家】	財務管理論応用 【桑原】	経営管理特殊講義Ⅵ (起業家行動論) 【饒平名】	—	—	経営管理特殊講義Ⅳ (日経新聞活用応用) 【小嶋】
7 限目 19:40～21:10	経営管理特殊講義Ⅰ (ライブ) 概論・基礎) 【宮家】	経営管理特殊講義Ⅶ (ビジネス・プランニング) 応用) 【多賀】	マネジメント応用論 【牛窪】	—	—	経営管理特殊講義Ⅴ (PBLによる戦略策定 実践講義応用編) 【酒元】

* 祝祭日は休講になります。

* □は、連続講義になります。

* 教室は、変更する場合があります。

* (初回授業日参照) 経営管理特殊講義Ⅷと経営管理特殊講義Ⅴは同一の週に開講します。また、経営管理特殊講義Ⅳは、上記2科目とは別の週に開講します。

6. 社会人の修了要件について

RSEC で提供する全ての授業科目は、琉球大学の学生が原則として卒業要件を満たせる科目となります。社会人の受講生は、同一科目の2科目課程を修了した受講生に対して修了証を授与します。（例：マネジメント実践論+マネジメント応用論）

なお、上述した修了証は、履修証明プログラムの履修証明書とは異なりますのでご注意ください。履修証明プログラムについては、6ページの「琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの履修証明書プログラムについて」をご覧ください。

7. 受講場所

沖縄産業支援センター 3階
小会議室（306・307）
住所：沖縄県那覇市小禄1831番地1



8. 募集人員

定員は各クラスそれぞれ25名程度となります。なお、琉大生については、夜間主コースの学生を優先します。

木・金曜日 25名（大学生 20名・社会人 5名）
土曜日 25名（大学生 5名・社会人 20名）

9. 社会人受講生の応募方法について

琉大コミュニティキャンパス事業本部のホームページのRSEC応募サイトから申し込みするか、もしくは本募集要項の「応募用紙」および「応募レポート用紙」に必要事項を記入の上、次項12の申込み郵送先に提出して下さい。

なお、応募サイトによる申込み及び郵送（必着）の応募締め切りは平成27年9月30日（水）となります。また、応募サイト又は郵送による申込みのどちらとも、必ず1科目毎に受講目的（400～500字程度）の送信又は提出が必要となりますので、ご注意ください。

10. 受講決定について

受講申込者数が定員を超過した場合等にご送付頂いたレポートの内容を担当教員が厳正に審査した上で受講生を決定させていただきますので、ご了承ください。

11. 受講料(平成27年度後学期分)について

受講料は、1科目あたり10,800円(90分間の授業×15回分の場合)となります。
初回授業後、1週間以内に受講科目数に応じた受講料金を指定の振込先にすみやかに入金して下さい。また、振込先は、初回授業時に別途案内します。大学からは請求書等の送付はしませんのでご注意ください。
なお、次年度以降の受講料金額については平成28年度から変更する場合がありますのでご了承ください。

12. 問い合わせ及び申込み先について

授業科目に関すること

○観光産業科学部事務部管理係○

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL: 098-895-8980

申込み及び履修証明プログラムに関すること

○琉大コミュニティキャンパス事業本部○

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL: 098-895-8085

郵送先及び応募サイト

○郵送先○

国立大学法人琉球大学 琉大コミュニティキャンパス事業本部 事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

○応募サイト○

RSEC公式HP: <http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/rsec/>

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ RSEC履修証明プログラムについて ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

RSECでは、設定された修了要件を満たした社会人受講生の方に対して、学校教育法第105条に基づく「履修証明プログラム」の修了を認定いたします。履修証明プログラムとは、体系的な知識・技術等の習得にあたり、総時間数120時間以上の学修を修了した者（主に社会人）に対して修了を認定するものです。認定を受けることで、RSECでの学修を学修履歴として公的に証明し、職業キャリア等に活かすことが可能となります。

RSECでは、「経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム」、「実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム」、「人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム」の3つの履修証明プログラムを提供いたします。各プログラムの詳細については、以下の（1）をご覧ください。なお、各履修証明プログラムにおいて提供される科目は、年度・学期によって開講状況が変動することがありますので、ご了承ください。履修証明プログラムの履修を希望される方は、別途申請が必要となります。詳しくは（2）および（3）に記載していますので、希望される方は必ずご確認ください。

（1）履修証明プログラムの紹介

【① 経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム】

概 要	本プログラムでは、財務諸表、日本経済新聞、経済情報誌等の読み方、分析の仕方、活用の仕方を学び、企業活動とその成果をアカウンティングとファイナンスの枠組みで考察する。具体的には、会計情報公開の意義と役割、財務諸表に基づく経営分析、企業の儲けの仕組み、企業の数字に関わる意思決定、資産と投資のアカウンティングアプローチとファイナンスアプローチの方法等を学んでいく。加えて、日経新聞の活用方法に着眼して、経済、経営、政治、金融といったそれぞれの事象を計量的な数値で捉え、その背景と原因さらには将来的な方向性を定性的に説明できる能力を養成する。
構成科目	①中小企業経営論（マクロ環境分析）、②財務管理論・基礎、③財務管理論・応用、④経営管理特殊講義XI（ビジネス・アカウンティング基礎）、⑤経営管理特殊講義XII（ビジネス・アカウンティング応用）、⑥経営管理特殊講義III（日経新聞活用講座・基礎）、⑦経営管理特殊講義IV（日経新聞活用法応用）
履修資格	・ 沖縄の「地域再生」・「地域活性化」・「地域興し」への貢献を望む者 ・ 学則第25条に規定する本学への入学資格を有する者（高校卒業程度の水準）
修了要件	・ 上記構成科目の成績が6科目以上「合」（A、B、C、D）の評価を得ること。

【② 実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム】

概 要	本プログラムでは、企業におけるマーケティングの重要性とその役割を体系的に習得することにより、企業が直面するマーケティング上の問題を的確に把握し、原因を分析し、対策的な方向性を提言できる人材を養成する。さらに事業経営において必要なビジネスのWill(意志・思考力)とSkill(技能・方法論)、さらには相互の関連性を学ぶことにより、政策立案能力および戦略策定能力の向上を図り、ビジネスの現場や自治体の現場で発生している問題や課題を効果的に解決することができる人材を育成する。
構成科目	①経営管理特殊講義V（マーケティング実践論）、②経営管理特殊講義VI（起業家行動論）、③経営管理特殊講義VII（マネジメントに必要なビジネス思考×基本ツール×運用力）、④経営管理特殊講義VIII（マーケティングの要諦と実践ビジネス・プランニング）、⑤経営管理特殊講義IX（PBL戦略策定講座基礎編）、⑥経営管理特殊講義X（PBL戦略策定実践講座応用編）、⑦中小企業のマネジメント特論
履修資格	・ 沖縄の「地域再生」・「地域活性化」・「地域興し」への貢献を望む者 ・ 学則第25条に規定する本学への入学資格を有する者（高校卒業程度の水準）
修了要件	・ 上記構成科目の成績が6科目以上「合」（A、B、C、D）の評価を得ること。

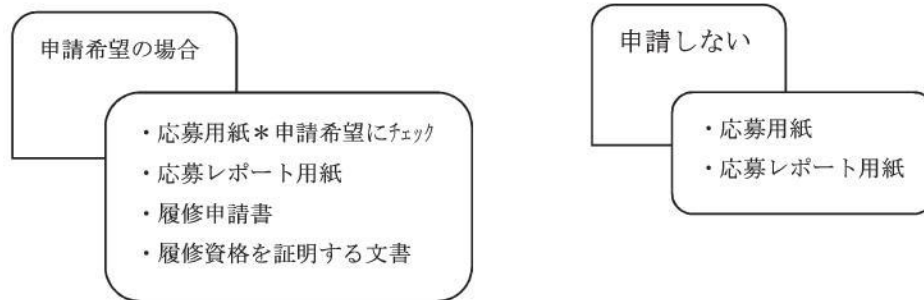
【③ 人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム】

概要	人的資源管理論、組織行動論、マネジメント論をベースに、人的資源の効果的な活用と育成、組織における人間行動ならびに管理の実践的本質を理論と実践の関連性を踏まえて学ぶプログラムである。本プログラムは、人のマネジメント及び組織のマネジメントのフレームワーク及び思考方法を通じて、企業が実際に直面する様々な課題や問題を、論理的かつ体系的に分析し、課題の達成ならびに問題の解決に向けた自身のオリジナリティを提言することができる人材を育成する。
構成科目	①マネジメント実践論、②マネジメント応用論、③人的資源管理論・基礎、④人的資源管理論・応用、⑤経営管理特殊講義Ⅰ（ライフプラン概論・基礎）、⑥経営管理特殊講義Ⅱ（ライフプラン概論・応用）、⑦中小企業発展特論、⑧中小企業発展論
履修資格	・沖縄の「地域再生」・「地域活性化」・「地域興し」への貢献を望む者 ・学則第25条に規定する本学への入学資格を有する者（高校卒業程度の水準）
修了要件	・上記構成科目の成績が6科目以上「合」（A、B、C、D）の評価を得ること。

(2) 履修証明プログラムの申請の手続き

履修証明プログラムの履修を希望する場合は、まず、「琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ 応募用紙」の「履修証明プログラム」欄において、「申請希望」の意思表示をしてください。次に、「琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ履修証明プログラム履修申請書」において、履修を希望する履修証明プログラムを選択し、その他、これまでに修了した科目に関する情報等、必要事項を記入してください。なお、履修証明プログラムの修了認定の対象となる科目は、「平成27年度前学期以降」に修了した科目となります。申請にあたっては、上記の琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ「応募用紙」及び「応募レポート用紙」に加え「履修証明書プログラム履修申請書」および「履修資格を証明する文書（最終学歴の卒業証明書等、高等学校卒業程度の水準以上の能力を有することを証明する書類）」を添えて、琉大コミュニティキャンパス事業本部（詳しくは5ページの12項に記載）へご提出ください。

提出書類



(3) 履修証明プログラムの修了認定について

履修証明プログラムの修了認定は、履修者が当該の履修証明プログラムが設定する修了要件を満たした学期末に行います。履修証明プログラムの修了認定を受けた方には、後日「履修証明書」が授与されます。なお、履修証明プログラムの認定（履修証明書の発行）にかかる料金は無料で、履修証明プログラム履修申請以外の手続きは発生しません。

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ 応募用紙

太枠内の記入をお願いします。

ふりがな		性別	1. 男 2. 女
氏名		生年月日	
		西暦	年 月 日生
現住所	(〒)		
	(電話番号は常時、連絡の取れる番号をご記入ください)		
勤務先	TEL :	FAX :	
	職場名		
e-mailアドレス	TEL :	FAX :	
	@		

受講希望科目 *受講希望科目に○印の記入をお願いします*

経営管理特殊講義Ⅰ (ライフプラン概論基礎)		経営管理特殊講義Ⅱ (ライフプラン概論応用)	
財務管理論応用		経営管理特殊講義Ⅻ (ビジネスアカウンティング 応用)	
経営管理特殊講義Ⅵ (起業家行動論)		マネジメント応用論	
経営管理特殊講義Ⅹ (PBLによる戦略策定 実践講座応用編)		中小企業発展特論	
経営管理特殊講義Ⅷ (マーケティングの要諦と 実践ビジネス・プランニング)		経営管理特殊講義Ⅳ (日経新聞活用法応用)	

受講希望科目数 _____ 科目 × 10,800円 (税込) = _____ 円

履修証明プログラム

- ・該当する箇所に✓をつけてください。
- ・新規申請希望の場合は、履修証明プログラム申請書も併せて提出してください。

申請希望 (新規)

申請しない

受付日	担当

(切り取り線)

琉球大学 サテライト・イブニング・カレッジ
履修証明書プログラム履修申請書

観 光 産 業 科 学 部 長
琉大コミュニティキャンパス事業本部長 殿

氏 名：
生年月日： 年 月 日

下記のとおり琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ「履修証明プログラム」の履修を申請します。

【履修証明プログラム名】 ※右欄の該当する番号1つに ○をつけてください。	1. 経営分析・ファイナンス・マクロ環境分析養成プログラム 2. 実践的マーケティング・課題解決技法養成プログラム 3. 人のマネジメント・リーダーシップ養成プログラム
--	--

	科 目 名	履 修 年 度 / 学 期
【既に修了した科目】 ※当該プログラムにおいて修了 した科目を右欄にご記入くだ さい。		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期
		平成 年度 学期

(切り取り線)

添付書類：【必須】履修資格を証明する文書

(最終学歴の卒業証明書等、高等学校卒業程度の水準以上の能力を有することを証明する文書)

◇提供科目◇

「人的資源管理論基礎・応用」・「財務管理論基礎」・「経営管理特殊講義Ⅺ（ビジネス・アカウンティング基礎）」
「経営管理特殊講義Ⅰ（ライフプラン概論）」・「経営管理特殊講義Ⅴ（マーケティング実践論）」
「マネジメント実践論」・「経営管理特殊講義Ⅶ（マネジメントに必要なビジネス思考×基本ツール×運用力）」
「経営管理特殊講義Ⅸ（PBLによる戦略策定実践講座基礎編）」・「経営管理特殊講義Ⅲ（日経新聞活用講座・基礎）」

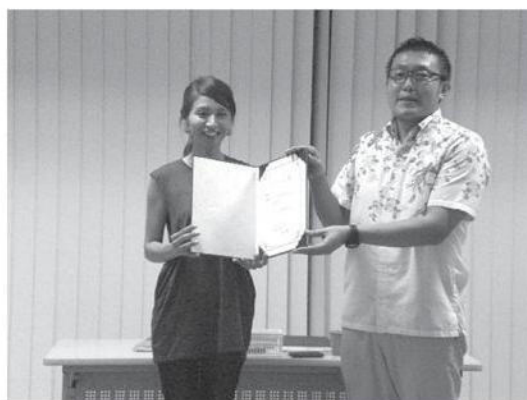


◇修了証書認定◇

人的資源管理論「基礎（2単位）」＋「応用（2単位）」

平成27年度前学期は、上記の◇提供科目◇が対象となり、
社会人学生3名に授与しました。

*修了証書は今学期より始まる履修証明書とは異なります。



◇受講者の声◇

【謝花 一成さん】

県内外の一流講師陣による、実践的かつ刺激的な講義内容はもちろん、講師の方々の豊富な経験と素晴らしい人生観にも触れることができ、大変勉強になりました。講義は、いろいろな職種の意欲的な社会人と学生が、共にグループワークやディスカッションなどを通じて、自ら積極的に学んでいくスタイルになっています。受講により、様々な「ビジネススキル」が身につくと同時に、幅広い「人的ネットワーク」も得ることができます。



【野原 詩織さん】

私は、販売の仕事をしています。モノを売る仕事なのでもっとモノが売れる方法を知りたいと思い受講しました。このような科目を受けたことがなかったので理解できるか不安でした。毎回の授業でのテーマがあり、授業の最後には学生とのディスカッションがほぼ毎回あります。実践論なので、次の日に会社で試すことができます。牛窪先生の体験した倒産の話は人ごとではなく衝撃的でした。日々の業務に追われて改善や、考える事を忘れていましたが、自分の仕事、仕事の環境について考えるいい機会になりました。経営学的に自分の働く環境はどんな感じか、少しは知ることができたと思います。



【伊志嶺 星哉さん】

RSECでは様々な講義が提供されており、自分の興味や時間に合った講義を受講できました。大学卒業から、あらためて講義を受けると、社会人として学ぶことの大切さを感じます。学生時代とは違う、実務の観点から学習できました。また受講生には様々な方がいらっしゃいます。多様な意見からは、独学で得られない気づきがありました。さらに懇親会を通して深めた人脈は、今後の社会生活に良い影響となるかもしれません。

